

市川自然博物館

10・11月号 （通巻70号） だより

花Ⅳ 『湿地の花』 の特集



△ ミソハギの花

細かく分かれた枝にピンク色の花を多数咲かせます。普段は全体ばかりを見てしまいますが、花ひとつのアップもきれいです。

*写真をカラーでご覧いただけます。 ホームページ版『博物館だより』もどうぞよろしく。
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>

花Ⅳ の特集

『湿地の花』

湿地の植物は、かつて田んぼが身近だった時代にはありふれていました。イヌビエやオモダカなどの田んぼの雑草があり、また、セリやマコモ、ミソハギなど暮らしの中で利用された植物もありました。都市化が進み、湿地を埋めて多くの住宅を供給する時代になって、ありふれていた植物は珍しいものになってきました。

オオジシバリ

タンポポをやや質素にした感じの黄色い花を咲かせます。休耕田のあぜなどに大きな群落を作ることがあり、花時には一面が黄色に染まって見事です。キク科の花なので、小さな花が多数集まってひとつの花を構成しています。

(花：5月 キク科)



クレスン

食べるクレスンです。オランダガラシという名もあります。帰化植物で、日本各地で野生化していますが、きれいな水の場所でしか生育できないという一面もあります。大町公園では2月ごろから湧き水の流れて瑞々しい若葉を伸ばしはじめ、4月には白い花が咲き始めます。4枚の花びらが十字の位置にあります。これはアブラナ科の花の特徴です。

(花：4月～5月 アブラナ科)



オニスゲ

湿地では、カヤツリグサ科の植物が多く見られます。本種やカサスゲなど、名前にスゲとついているものが多いです。オニスゲは、真ん中に直立する雄花の穂と、その下に左右につく雌花の丸い穂とで花ができています。スゲの仲間のなかでは特徴のある形をしています。

(花：5月 カヤツリグサ科)

セリ

春の七草として若葉を食用にするセリは、夏に花が咲きます。写真は花を拡大して写したもので、小さな花が集まって大きな全体の花を構成していることがわかります。長いめしべも特徴です。

(花：7～8月 セリ科)



ハッカ

ペパーミントなどのハーブがよく知られていますが、いわゆる「はっか」の原料となったのは本種で、日本に自生している植物です。対生についた葉の根元で淡い紫色の花を多数咲かせます。田んぼのあぜに普通な植物で、少し折れただけでも爽やかな芳香が辺りに漂います。

(花：8～9月 シソ科)



イボクサ

ツクサと同じグループに属する植物で、葉や花の感じが似ています。花は白色で、まわりにピンクを差した色合いをしています。1年草ですが、茎の下部で分枝するため大きな株になります。

(花：9月 ツクサ科)



アカバナ

休耕田で群落を作ることがあり、紅色の花が群れ咲く様子は見事なものです。長い柄の先に4弁の花があるように見えますが、柄に見える部分はじつは子房で、花の一部を構成しています。花後には、この部分が実となって熟します。市内では大町公園の湿地でよく見られます。

(花：9月 アカバナ科)



ジュズダマ

田んぼの水路や休耕田でごく普通に見られる植物です。かつて本種の実を集めて遊んだ経験のある方も多いようです。

「数珠玉」の玉となる部分は雌花の穂が総苞葉に包まれた部分で、写真ではその先に、おしべをぶら下げた雄花の穂がついているのが見られます。

(花：9月 イネ科)



街かど自然探訪

おじゃまします!

みなとしんでん

湊新田・公園でどんぐり拾い

行徳駅前公園は、この地域で安全にコナラやクヌギのどんぐりが拾えるポイントです。さらに、イチョウやサクラ、ケヤキなどの木々の、きれいに色づいた落ち葉もたくさん拾えます。どんぐりや落ち葉をいろいろ集めて人形やコマを作ってみてはどうでしょうか?

ただし、公園にどんぐり拾いに行く時には、注意点が一つあります。公園の掃除が終わると、どんぐりも落ち葉もきれいに無くなってしまいます。

行徳駅前公園



RDB レッドデータブック

掲載種紹介



ヒヌマイトトンボ

分類：昆虫類
イトトンボ科
ランク：絶滅危惧Ⅰ類



海水と淡水が混じる、いわゆる汽水域にだけ生息するイトトンボです。生息地の多くは大きな河川の河口域にあり（都市が発達していることが多い）、人為的な影響を受けることが多くあります。

市内では江戸川に小さなアシ原が残されていて、そこが唯一の生息地となっています。生息地が河川工事の影響を受けることが予想され、そのため、現在、保護対策が検討され実施されています。

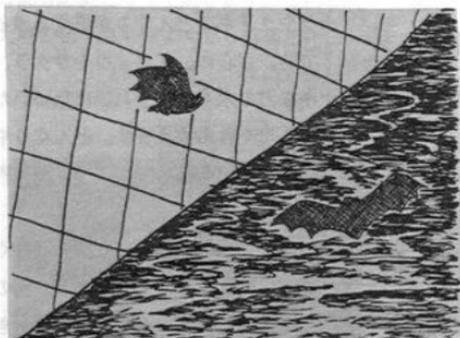
(市川市指定天然記念物)

灯籠流しの晩に……

「8月26日、灯籠流しで5時半から8時まで北方橋のあたりにいました。アブラコウモリが飛んでいて、灯籠流しの川面を見ているとツバメのように飛び交ってました。周りの人にも教えてあげたのですが、あまり関心がないようでした」

——家ねずみの仲間を別にすれば、アブラコウモリは市内にもっとも幅広く生息する野生哺乳類です。でも、その暮らしぶりはほとんどわかっていません。

(情報提供：水垣麻理子さん)



行 事 案 内

自然観察会

毎月テーマを変えて、市内各所に出かけます。内容によりコースの区別があります。

- 親子コース…親子向けの内容で楽しく観察します。定員 先着10組
- 一般コース…大人向けの内容でじっくりと観察します。定員 先着20名

テ ー マ	コース	日 時	場 所	受付開始
秋の長田谷津	親子コース	11月11日(出)午前	自然観察園	10月21日～
	一般コース	11月12日(日)午前		
流域散策 一市川の川下り	一般コース	12月10日(日)	(詳細は11月18日発行の「広報いちかわ」に掲載)	11月18日～

申し込み方法

往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、行事名と参加したいコース名、参加希望日を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

抽井散策会 雑木林を散策します。

申込は必要ありません。はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせください(交通手段等ご案内します)。

- ・日時 毎月第3土曜日 午後1時30分～3時
- ・雨天は中止です。

観察ノート

◆大町公園より

- ・ニイニゼミの声を今年初めて聞きました(7/3)。
- ・チョウトンボがハンノキの上空をヒラヒラと優雅に飛んでいました(7/24)。
- ・ツクサが湿地で多数の花を咲かせていました(8/7)。

金子謙一(自然博物館)

- ・アサギマダラが飛んでいるのを見ました(7/9)。台風に乗ってやって来たと思われれます。
- ・コムラサキが樹液のでているヤナギに産卵していました(7/9)。市内での目撃は、最近ではめずらしいことです。

清野元之(自然博物館)

- ・渡りをする鷹サシバが斜面林から10羽一度に飛びたちました(8/9)。

宮橋美弥子(自然博物館)

◆柏井雑木林より

- ・クロスジギンヤンマが林の池でなわばりを形成していました(7/12)。
- ・キツネノカミソリの花が咲いていました(8/17)。

金子謙一

◆北方遊水池付近より

- ・セリの花が咲いていました(8/10)。
- その他にタカサブロウやヨメナ、ジュズダマなど水田や休耕田の雑草が花を咲かせていました。金子謙一

◆国府台付近より

- ・アオバズクの幼鳥が巣立ちました(7/24)。

親鳥と幼鳥2羽が、サクラの木にとまっていました(7/25)。

根本貴久さん(菅野在住)

◆里見公園より

- ・カラスの幼鳥が巣立ちました(6/24)。
- 親鳥は、幼鳥の周囲で警戒してドスの聞いた声で鳴いていました。

秋元久枝さん(国府台在住)

◆小塚山市民の森より

- ・ヤマガラの幼鳥がエナガやシジュウカラと混群をつくっていました(7/20)。
- ヤマガラは近くで繁殖したものと思われれます。

根本貴久さん

◆宮久保周辺より

- ・5丁目のヨシ原で、ヘイケボタルが光っているのを見ました(8/9)。昨年は、8/31まで見る事ができました。

堤 清平さん(宮久保在住)

◆本八幡周辺より

- ・夜7時頃、本八幡駅南口のケヤキの木に、スズメが集まっているのをみつけました(7/12)。去年もスズメのねぐらとして使われていました。

田中利彦さん(船橋市在住)

◆江戸川放水路より

- ・干潟にキアシシギのにぎやかな声もどってきました(8/3)。

金子謙一

◎今年の夏は、猛暑が続きました。



行 事 案 内



平成12年度 自然博物館企画展 を開催します

「市川市内の絶滅危惧種」

現在、市川市内にも絶滅のおそれのある野生動植物が生息しています。今回の企画展では、国や県の調査で取り上げられた種について、その特徴や市内での状況などについて紹介いたします。観覧の方法は、下記のとおりです。

●自然博物館にお越し下さい！

種ごとに解説したパネルのほかに、剥製などを用いてより詳しい展示をいたします。

●お近くの会場にお越し下さい！

市内6カ所で行った巡回展示をいたします。

会 場	会 期
自然博物館	平成12年11月3日(金)～12日(日)
西部公民館	11月14日(火)～19日(日)
市川公民館	11月21日(火)～26日(日)
メディアパーク市川 (生涯学習センター)	11月28日(火)～12月3日(日)
行徳公民館	12月5日(火)～10日(日)
南行徳市民センター	12月12日(火)～17日(日)
市川市役所	12月18日(月)～22日(金)
自然博物館	平成13年1月3日(火)～3月31日(土)

●ホームページをご覧ください！

自然博物館のホームページに、パネルと同じ内容が掲載されます。

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>

博物館セミナー

考古・歴史・自然博物館の学芸員が、それぞれの日頃の研究の成果を発表します。自然博物館の担当は下記のとおりです。その他については、各館にお問い合わせください。

- ・テーマ 長田谷津の魅力③・④
- ・日時 11月18日(土)・25日(土) 午後6時～8時 1日のみの参加でも結構です。
- ・会場 市民会館(葛飾八幡宮参道わき)

お申し込みは、歴史博物館まで、
お電話でお願いいたします(☎047-373-6351)。

その他の行事については、
6ページをご覧ください

市立市川自然博物館だより
第12巻 第4号 (通館第70号)
発行日/平成12年10月1日
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>